



犯罪・非行からの立ち直り:

desistance (非行・犯罪からの離脱) とは何か

日時 2014年10月18日(土) 13時20分-17時 (12時半開場)

会場 京都産業大学 神山ホール (受付: 神山ホール1階ロビー内)

参加費 会員 2000円 一般(非会員) 2500円 院生(会員・非会員) 1000円
学部学生 無料 【事前申込不要】(本参加費で学術大会(両日)参加が出来ます)

近時、日本の刑事政策において再犯防止が注目されている。2012年には、政府の犯罪対策閣僚会議において、「再犯防止に向けた総合対策」が決定され、昨年、刑法改正によって導入が決定された刑の一部執行猶予は、その条文の中で再犯防止を目的とすることが書かれている。しかし、持続可能な再犯防止を実現するためには、罪を犯した者の立ち直りが不可欠である。

本テーマセッションでは、この立ち直りに焦点を当てて考えてみたい。犯罪者や非行少年が立ち直るためには内的には彼ら自身が stigma(スティグマ)を克服し、新たな identity(アイデンティティー)を獲得することが必要であり、外的には社会の中での居場所と出番を獲得することが必要だといわれている。最近、英米を中心に立ち直り研究に注目が集まりつつあるが、そこでは、従来の rehabilitation の代わりに recovery(回復)や desistance(離脱)、resilience といった言葉がよく使われる。本テーマセッションでは、基調講演を含め、これらの言葉のもつ意味をもう一度整理しつつ、犯罪者や非行少年らの立ち直りを考えてみたい。

第1部: 基調講演

Bonita M.Veysey (ラトガーズ大学)

非行・犯罪からの離脱 (desistance)、
異なるアイデンティティー(identity)への
変容のプロセス: 将来有望な新たな方向性とは
(逐次訳あり)

第2部: パネル・セッション

岡邊 健 (山口大学)

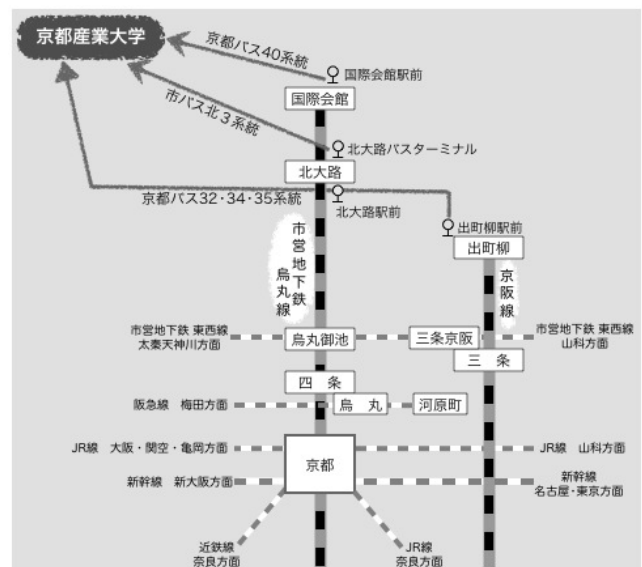
飯野 雄治

(リカバリーキャラバン隊、稲城市職員)

津富 宏 (静岡県立大学)

コーディネーター: **浜井 浩一** (龍谷大学)

アクセスマップ



連絡先 日本犯罪社会学会事務局
〒577-0036 大阪府東大阪市御厨栄町 3-1-35
学術センターU-BOX 2階
電話: 06-6618-4324 FAX: 06-6781-8883
日本犯罪社会学会 研究委員会
E-mail: kenkyu2014@yahoo.co.jp